

# 西日本新聞

特集 1泊2日の山旅計画  
季刊のぼろ  
最新号、好評発売中! ●出版部

2017年  
6月21日  
(水曜日)

## 日田市、新電力に変更へ

### 木質バイオマス発電 役所や全小中校



日田市は20日、市役所や振興局(大山、前津江を除く)、図書館、全小中学校など市関連施設の電力調達先を、九州電力から木質バイオマス発電による電力供給会社「日田グリーン電力」(同市東有田)に変更する方針を明らかにした。今月中に同社と随意契約を結び、3カ月後をめどに切り替える。

市議会総務環境委員会などで明らかにした。電力の地産地消により、基幹産業の林業の振興や地球温暖化対策を図るとともに、市内

経済を活性化、地場企業を育成するのが狙い。新電力へ切り替えるのは契約電力50誌以上の高圧受電の38施設。対象施設の電気料金は2015年度実績で年間計約1億円だったが、バイオマス発電に切り替えることで500万円程度の削減になるという。

同社は、間伐材などの山林未利用材から木質バイオマスチップを作り、それを燃料に発電する「日本フォレスト」(いずれも同市)をグループ会社を持つ新電力(新規参入事業者)。発電に使われる未利用材は年約8万トで、このうち同市分

は約4万8千トという。

市は「木質バイオマス発電による電力の利用で、再生可能エネルギーの活用促進や林業活性化を目指したい」としている。(小川勝也)

(第3種郵便物認可)

+